

# STOP!



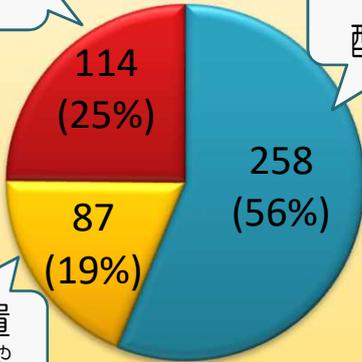
# 電気火災

電気火災とは、電気や電気製品などにかかわる火災のことをいいます。暮らしに欠かせない電気も、使い方を誤ったり、確認を怠ると火災につながる可能性があるため、電気火災の特徴を知って電気火災を防ぎましょう！

(リーフレット内の火災件数はH30～R4年の5年間に県内で発生した火災の累計)

## 出火原因別の電気火災件数

電気機器  
家電や電気工具  
電池類など



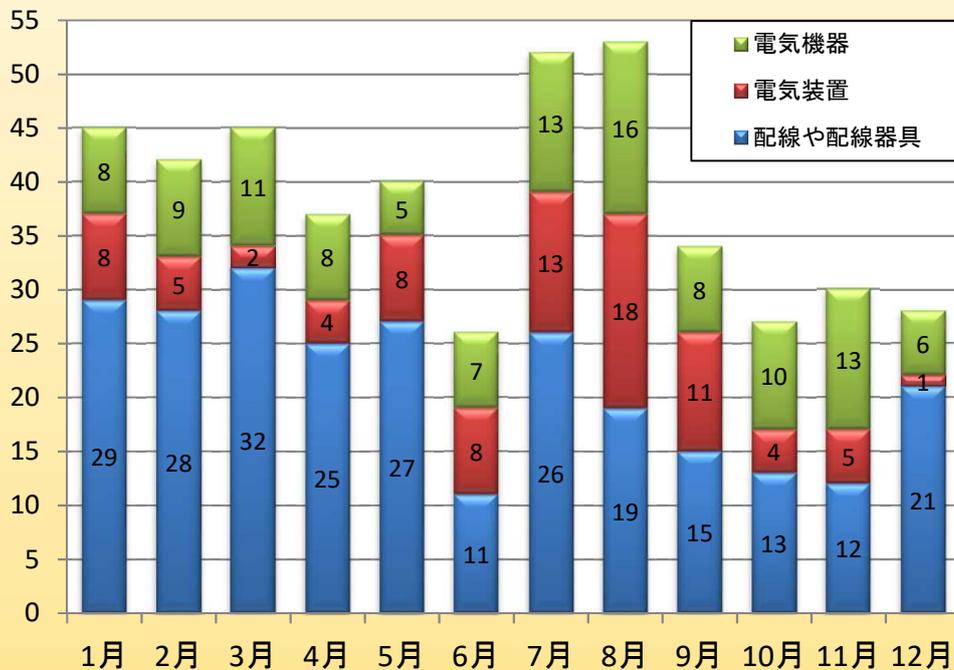
配線や  
配線器具

配線や配線器具の火災が最も多いね！

電気装置  
コンデンサーや  
モーターなど



## 月別の電気火災件数



7月や8月は電気機器や電気装置の火災が増えるんだね  
どんなことに気をつけたらいいんだろう？

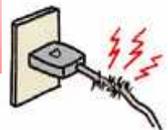
次のページで電気火災の予防ポイントを確認しよう！



# 電気火災予防ポイント

## 配線や配線器具の火災について

断線や痛みがあると、発熱や短絡(ショート)につながります。



配線の痛みや発熱の原因となります。

いたんだまま使用しない



重いものをのせない



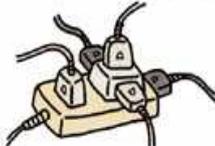
消してないよ!

消し忘れが出火につながります。使わないときはコードを抜きましょう。

トラッキング現象の原因となります。(ホコリが湿気を帯びて小さなスパークを起こす現象)



プラグにほこりをためない



タコ足配線をしない

タップの許容電流を超えると発熱し、火災の原因となります。

コードをたばねない

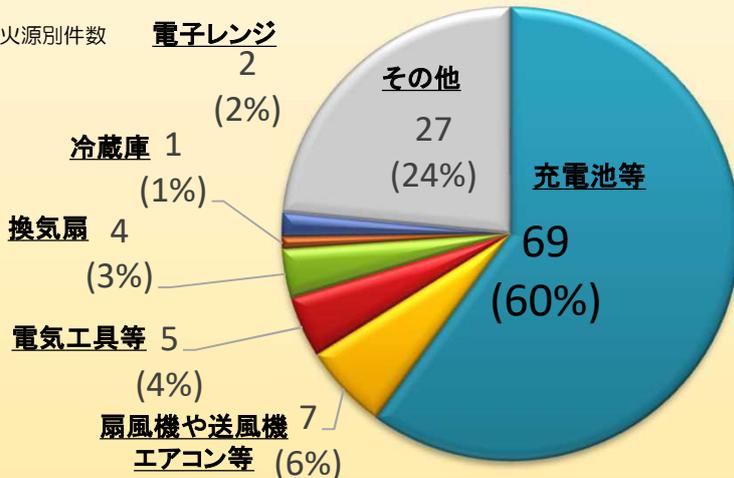
束ねると、コード内に熱が溜まりやすくなります。



つついちゃうことや、普段気をつけていないことばかりだ... 家に帰ったらよく確認しないとイケないね!

## 電気機器の火災について

電気機器の火災 114 件の発火源別件数



身近な電気機器からも出火するケースがあります。特に、リチウムイオン電池などの充電機や、扇風機・送風機・エアコンなどの火災が多く発生しています。(写真提供:(独)製品評価技術基盤機構(NITE))

### 火災再現実験写真



モバイルバッテリー (リコール対象品)



古い扇風機

製品に不具合がある場合も出火につながることがあります。所持品がリコール対象品か確認しましょう!

古い電気製品は、内部部品や配線が劣化している場合があります。出火の危険性が高まります。買換えたり、使用を取りやめるなどして出火を防ぎましょう!

